



2020年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年10月2日

上場会社名 岡野バルブ製造株式会社
 コード番号 6492 URL <http://www.okano-valve.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡野 武治
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 木村 浩一
 四半期報告書提出予定日 2020年10月9日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東 福
 TEL 093-372-9215

(百万円未満切捨て)

1. 2020年11月期第3四半期の連結業績(2019年12月1日～2020年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年11月期第3四半期	3,647	△9.3	△293	—	△223	—	△89	—
2019年11月期第3四半期	4,020	△19.3	△800	—	△732	—	△558	—

(注) 包括利益 2020年11月期第3四半期 △129百万円 (—%) 2019年11月期第3四半期 △592百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年11月期第3四半期	△51.70	—
2019年11月期第3四半期	△322.22	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年11月期第3四半期	11,961	8,302	69.4
2019年11月期	12,844	8,491	66.1

(参考) 自己資本 2020年11月期第3四半期 8,302百万円 2019年11月期 8,491百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年11月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2020年11月期	—	0.00	—		
2020年11月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年11月期の連結業績予想(2019年12月1日～2020年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,400	△4.0	15	—	110	—	180	—	104.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年11月期3Q	1,793,000 株	2019年11月期	1,793,000 株
② 期末自己株式数	2020年11月期3Q	75,363 株	2019年11月期	64,653 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年11月期3Q	1,725,317 株	2019年11月期3Q	1,734,044 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により世界規模での経済活動の落ち込みが見られ、国内においても企業活動や個人消費活動が大幅に制限されたことで景気が急速に悪化いたしました。

発電プラント用バルブの製造販売およびメンテナンスを主要事業とする当社グループの事業環境につきまして、女川原子力発電所2号機において新規制基準に基づく安全審査の合格が決定し、立地自治体による再稼働容認の動きがみられるなどの進展はあるものの、再稼働時期は依然として流動的であり、先行き不透明な状況が続いております。

このような事業環境の中、バルブ事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により主に国内外の新設火力プラント向け受注が減少する中、柏崎刈羽原子力発電所6号機、7号機向けやインドネシアの新設火力発電所であるチレボン石炭火力発電所2号機向けの販売に加え、玄海原子力発電所3号機、4号機の特重大事故等対処施設（以下、特重施設）における先行工程の弁販売などに注力いたしましたが、全般的に小口案件主体であったことから売上高は低調に推移いたしました。

メンテナンス事業におきましては、夏季の工事需要低下時期を迎えたことから売上高は低調に推移したものの、柏崎刈羽原子力発電所6号機、7号機の設備設置工事や女川原子力発電所2号機の点検工事等の主要案件が売上計上されたため、概ね計画通りの業績となりました。

新規事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大による営業活動の制限等を受けたことにより、売上高は低調に推移いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,647百万円（前年同期比9.3%減）となりました。また、バルブ事業における売上高の絶対量不足が影響し、営業損失293百万円（前年同期は営業損失800百万円）、経常損失223百万円（前年同期は経常損失732百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失89百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失558百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ883百万円減少し、11,961百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が656百万円、仕掛品が660百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が1,986百万円減少したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比べ694百万円減少し、3,659百万円となりました。この主な要因は、買掛金が246百万円、長期借入金が257百万円、役員退職慰労引当金が244百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ188百万円減少し、8,302百万円となりました。この主な要因は利益剰余金が123百万円減少し、自己株式が24百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、予断を許さない状況が続いておりますが、バルブ事業では、玄海原子力発電所3号機、4号機の特重施設における主要工程の弁販売や西条発電所1号機向けの販売等を予定しております。また、メンテナンス事業では女川原子力発電所2号機向けや島根原子力発電所3号機向け点検工事などを予定しており、期末に売上が集中する見込みであります。

当第3四半期末における業績は、2020年6月17日に修正発表した業績予想数値に比べて低調に推移しておりますが、期末にかけて予定されているこれらの需要増加に伴い業績は改善していくものと見込んでおります。従いまして、現時点では2020年6月17日に修正いたしました業績予想数値に変更はありません。

ただし、これらの予想および進捗は、新型コロナウイルス感染症の影響を含め、今後の受注環境や顧客納期の変更等、様々な要因により変動する可能性を含んでおります。今後の経過を注視しつつ、開示すべき事象が発生した場合には速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,908,510	3,564,657
受取手形及び売掛金	4,022,940	2,036,830
製品	147,113	132,184
仕掛品	989,100	1,649,128
原材料	115,462	131,776
その他	44,679	101,912
貸倒引当金	△17,000	△17,000
流動資産合計	8,210,807	7,599,490
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,647,866	1,568,137
機械装置及び運搬具(純額)	1,824,966	1,617,565
その他(純額)	364,943	317,076
有形固定資産合計	3,837,776	3,502,779
無形固定資産		
14,800		43,222
投資その他の資産		
投資有価証券	491,535	466,633
繰延税金資産	190,756	258,980
その他	102,688	94,166
貸倒引当金	△3,600	△3,600
投資その他の資産合計	781,380	816,179
固定資産合計	4,633,956	4,362,181
資産合計	12,844,764	11,961,671

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	400,560	153,813
1年内返済予定の長期借入金	312,612	312,612
未払費用	227,975	142,157
未払法人税等	17,293	50,985
賞与引当金	28,647	63,700
その他の引当金	33,749	26,947
その他	244,792	315,894
流動負債合計	1,265,630	1,066,109
固定負債		
長期借入金	2,109,235	1,851,850
役員退職慰労引当金	282,138	37,287
退職給付に係る負債	696,226	703,847
固定負債合計	3,087,600	2,592,985
負債合計	4,353,230	3,659,094
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,286,250	1,286,250
資本剰余金	543,750	543,750
利益剰余金	6,853,736	6,729,972
自己株式	△213,748	△238,536
株主資本合計	8,469,987	8,321,435
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34,435	△763
退職給付に係る調整累計額	△12,889	△18,094
その他の包括利益累計額合計	21,545	△18,858
純資産合計	8,491,533	8,302,577
負債純資産合計	12,844,764	11,961,671

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年8月31日)
売上高	4,020,219	3,647,062
売上原価	3,936,874	3,262,184
売上総利益	83,345	384,877
販売費及び一般管理費		
役員報酬	134,170	87,154
給料手当及び賞与	275,346	226,454
賞与引当金繰入額	14,287	10,995
退職給付費用	13,946	12,425
役員退職慰労引当金繰入額	13,087	8,750
減価償却費	20,456	15,393
貸倒引当金繰入額	17,000	—
その他	395,100	317,158
販売費及び一般管理費合計	883,395	678,330
営業損失(△)	△800,050	△293,453
営業外収益		
受取利息	13	13
受取配当金	7,601	7,580
持分法による投資利益	24,932	27,133
受取賃貸料	20,524	20,449
受取保険金	20,486	2,867
その他	9,674	21,090
営業外収益合計	83,232	79,135
営業外費用		
支払利息	6,318	5,735
減価償却費	1,475	1,475
固定資産除却損	—	935
その他	7,481	1,307
営業外費用合計	15,275	9,453
経常損失(△)	△732,093	△223,771
特別利益		
受取補償金	—	131,739
特別利益合計	—	131,739
特別損失		
固定資産除却損	25,708	—
臨時損失	—	7,968
特別損失合計	25,708	7,968
税金等調整前四半期純損失(△)	△757,801	△99,999
法人税、住民税及び事業税	8,096	48,000
法人税等調整額	△207,163	△58,803
法人税等合計	△199,066	△10,803
四半期純損失(△)	△558,735	△89,196
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△558,735	△89,196

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年8月31日)
四半期純損失(△)	△558,735	△89,196
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△35,383	△35,199
退職給付に係る調整額	1,275	△5,204
その他の包括利益合計	△34,108	△40,404
四半期包括利益	△592,844	△129,600
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△592,844	△129,600
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症拡大により、当第3四半期連結累計期間において、当社グループでは売上計画の一部延伸、また、生産量の減少による工場操業度の低下の影響を受けております。

このような状況により、一時的な需要低下があるものの、感染拡大の収束、経済活動の再開に伴い当連結会計年度末にかけて受注状況が回復していくと仮定しており、繰延税金資産の回収可能性および固定資産の減損等の会計上の見積りについては、当該仮定を反映しております。

なお、将来における実績値に基づく結果が、これらの見積りおよび仮定とは異なる可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年12月1日至2019年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	バルブ事業	メンテナンス 事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	2,565,021	1,455,198	4,020,219	—	4,020,219
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,565,021	1,455,198	4,020,219	—	4,020,219
セグメント利益又は損失 (△)	△287,505	11,108	△276,396	△523,653	△800,050

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△523,653千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年12月1日至2020年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	バルブ事業	メンテナンス 事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	1,800,578	1,846,483	3,647,062	—	3,647,062
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,800,578	1,846,483	3,647,062	—	3,647,062
セグメント利益又は損失 (△)	△302,135	412,068	109,932	△403,385	△293,453

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△403,385千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。